

# 利用者に寄り添う

## ケアマネジャーの役割

### 社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

**ケ** アマネジャーとは、介護や支援を必要とする人が介護保険サービスを受けられるように、総合的なサポートを行う専門家です。正式には、「介護支援専門員」といい、居宅介護支援事業所に所属しています。

現在、本町にある居宅介護支援事業所は、社会福祉協議会と清和園の2つですが、清和園については休止中となっています。

今回は、社会福祉協議会の居宅介護支援事業所で、主任介護支援専門員である三好耕二管理者にお話を聞きました。

——ケアマネジャーは主によいような仕事をしているのでしょうか。

介護サービスを利用するためにはケアプランと呼ばれる計画書が必要です。私たちケアマネジャーが、介

護サービス利用者（以下、利用者）の自宅等を訪問し、心身の状態を確認します。そして、利用者や家族と話し合い、希望や課題について把握し、どのようなサービスが、どれくらい必要なのか、ということと相談し、ケアプランを作成しています。

利用者や家族に寄り添いながら、利用者が自立した生活を送れるように支援することが主な仕事になります。

——ケアプランを作成する際の注意点はありますか。

ケアプランには、利用者が自立した生活を送れるように目標を設定しています。利用者が希望するサービスを念頭に置いています。それが必ずしも目標にふさわしいサービスとは限りませんし、家族が希望するサービスと一致するとも限りません。また、こちらが最善だと思いうケアプ



プロフィール

三好 耕二（みよし・こうじ）1974年7月3日生まれ  
旭川市出身。旭川南高校卒業後、介護福祉専門学校にて介護を学ぶ。その後、札幌市内の老健施設などで勤務。10年ほど前にケアマネジャーの資格を取得し、町内の居宅介護支援事業所に勤める。

ランを提案しても受け入れてもらえない場合もあります。そのようなときは、きちんと相手の話を聞いた上で、柔軟に対応する必要があります。

——そうやって作成されたケアプランを見直すことはありませんか。

状態に変化が見られた際は、都度見直しをしています。必要な場合は、サービスを利用している事業所や施設の職員からも話を聞いてケアプランの変更をしています。もちろん、利用者や家族から変更の要望があった場合も見直しをしています。

——ケアプランが変更できることは分かりましたが、ケアマネジャーを変更してほしい、ということはあるのでしょうか。

ケアマネジャーにコミュニケーション能力があったとしても対人間的なことで、そういうこともあります。そういう中で無理に続けても、お互いに苦痛でしかないのです。そういうときは利用者やその家族の方には遠慮なく言ってもらえたらと思います。直接、私たちに言いにくいのであれば、役場の介護健康課介護保険係へ相談していただいても構いません。